

3/6(土)15時～ オンライン シンポジウム クマとの共存のために、今、何が必要か



主催：(一財)日本熊森協会

撮影：佐藤嘉宏

2年で12,000頭超の大量捕殺！乱獲を止めなければクマは滅びる

2019年、2020年とクマの捕殺数は2年連続で過去最多となりました。出没や人身事故は連日ニュースになりましたが、クマの生息地の奥山が急速に劣化していることが背景にあることは報道されません。

クマなどの大型野生動物のつくる森は私たちの水源の森です。現状を知り、手遅れになる前に、共存へ向けて動き出しませんか？ 豊かな自然を守り、全ての生きものとの共存を願う方、ぜひ、お集まりください！

2021年 **3/6(土)**

【時間】15:00～17:00

【参加費】無料 (定員100名)

Zoomウェビナーにてオンライン開催

(挨拶)「今、共存へ舵を切らなければ手遅れに」

日本熊森協会 会長 室谷 悠子

(講演)「クマを養えなくなっている奥山～西中国山地のツキノワグマ生息地で何が起きているか」

広島フィールドミュージアム 代表 金井塚 務

(講演)「生息数推定では、クマは守れない～各地の生息推定数の検証から～」

日本福祉大学 教授 山上 俊彦

(提言)「大量捕殺を止め、人身事故を防止するために何をすべきか」

日本熊森協会 野生動物担当 水見竜哉

質疑・意見交換

(参加申し込み) お名前、お住いの都道府県を記載の上、下記までメールをお送りください。

E-mail: event@kumamori.org

一般財団法人日本熊森協会 Tel: 0798-22-4190 (水・日・祝休み)